

# 「部落差別をなくする運動」 強調旬間

7/10<sup>[木]</sup> → 7/20<sup>[日]</sup>



同和問題(部落差別)は、人間として幸せに生きる権利や自由(居住及び移転の自由、職業選択の自由、教育の機会均等を保障される権利、結婚の自由など)を、そこに生まれたというただそれだけの理由(本人には責任のないこと)によって侵害され、社会的不利益を受けてきた問題です。

近年、インターネット上で差別の助長につながる情報が公開されるといった事案も発生していることなどから、「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月16日から施行されました。

同和問題を正しく理解し、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指しましょう。

## 「部落差別をなくする運動」 強調旬間とは

高知県では、昭和44年7月10日に「同和対策事業特別措置法」が施行されたことにちなんで、7月10日から20日までを「部落差別をなくする運動」強調旬間と定め、部落差別のない社会の実現に向けて、同和問題に関する教育・啓発等の取組を進めています。

一人ひとりの心に人権



高知県人権啓発センター  
人権啓発マスコットキャラクター

## 第52回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業

令和7年

7月16日(水)

開場: 13時～/開会: 13時30分/閉会: 15時30分  
高知県立県民文化ホール グリーン  
高知市本町4丁目3-30 / TEL 088-824-5321

定員  
**500名**  
申込不要

**入場無料**  
手話通訳あり

講演

### 一緒に考えるということ ～「部落差別」と「多様性社会」について～

講師/プロフィール

公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任 **三木 幸美 さん**



1991年大阪出身。フィリピンと日本の「ハーフ」として大阪の被差別部落で生まれ、無国籍・無国籍児から8歳で「日本人」となる。

学生時代に外国にルーツをもつ子ども・若者の支援活動をはじめ、子ども～社会人までを対象にしたダンス教室を10年間開講。2016年度より同協会職員となり、2024年度より現職。

講演・現代ビジネスでの執筆や講演、NHK・Eテレ『バリバラ』出演など多方面で発信を続けている。

### オープニング演奏

清和女子中学・高等学校  
ハンドベル部



心をつなごう

お問い合わせ先

公益財団法人

**高知県人権啓発センター**

〒780-0870 高知市本町4丁目1-37  
TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440  
Eメール center@kochi-jinken.or.jp

主催: 高知県・高知県教育委員会・(公財)高知県人権啓発センター

後援: NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・KCB高知ケーブルテレビ・高知新聞社・朝日新聞高知総局  
読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・エフエム高知